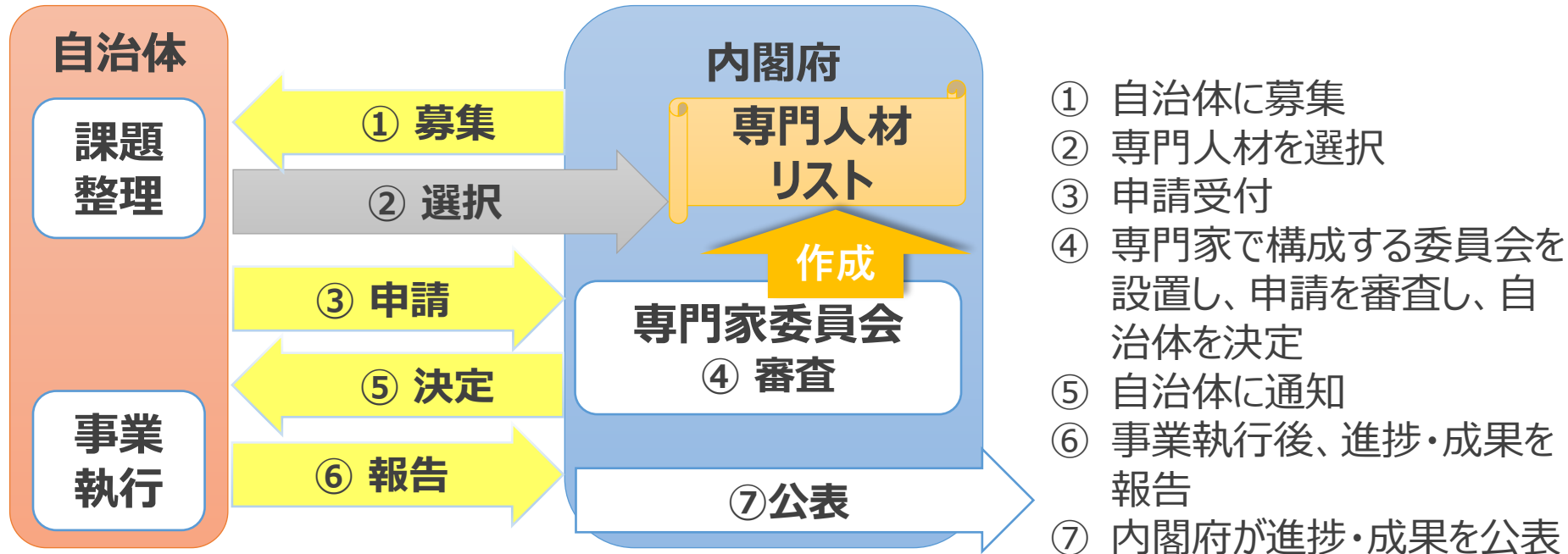


地方創生SDGs 課題解決モデル都市

審査フロー



- ① 自治体に募集
- ② 専門人材を選択
- ③ 申請受付
- ④ 専門家で構成する委員会を設置し、申請を審査し、自治体を決定
- ⑤ 自治体に通知
- ⑥ 事業執行後、進捗・成果を報告
- ⑦ 内閣府が進捗・成果を公表

審査項目

整合性	地方創生SDGs の理念に沿って、自律的好循環を目指す取り組み課題であるか。
深刻度	都市にとって重大な課題であり、都市機能や資産への著しい損害や住民の生活継続への障害など、都市の持続に深刻な影響を及ぼすもの、あるいは既に深刻な段階に進んでいるものであるか。
喫緊度	都市にとって迅速な解決が求められる課題であり、直ちに対処しなければ社会機能等の改善や回復ができなくなる、または、対応が遅れるほど加速度的に修復等が困難となるものであるか。
共通性・モデル性	課題が他都市との共通性を有しており、事業実施後にモデル事例として展開が見込めるものであるか。
実現可能性	解決が見込める課題であるか。また、課題に対し適切な専門家が選任されているか。